

<都知事選と図解>

- ・公約とは嘘を見抜くことも重要。
- ・図解することで主張の違いを理解できた。どんな図を描こうかと考えられるようになった。
- ・オリンピックで比べた。
- ・公約を信頼できるという考えの元を選ぶ。
- ・コロナ対策や授業料について似ていることを図解にすると、今の問題を解決するのか、未来に向けての問題を少しずつ解決するという意見に分かれていることが分かった。
- ・図はとても有効。現実的ではない人が多い印象を受けた。
- ・どのような世の中になるのか楽しみ。
- ・オリンピックが出来ると思う人と出来ないと思う人で意見が分かれて面白かった。
- ・しっかりとした理由づけをする必要が図解にはあるのだと思った。公約の表面と裏面が見えてきた。

- ・オリンピックは中止せず延期し開催してほしい。
- ・トーナメント形式で表現していた図は斬新だった。
- ・グループワークは慣れてきて積極的に発言することが増えた。
- ・比較することの重要性を学んだ。
- ・複数の人がバラバラの事をいってるのを図にまとめるのは難しかった。小池さんが教育の無償化を公約していないということは今の東京都では現実的に無理だと思う。
- ・選挙に関心がなかったが興味持てた。
- ・図解にすることで、候補者が重きをおいていることは大きな○で表現することができ文章ではできない表現の仕方だと思う。
- ・英語力より国語力を上げるのを優先すべきだ。
- ・図解することで、簡潔にまとめられると思った。
- ・オリンピックの注目度が高いことが分かった。

- ・公約は嘘を見抜くことも重要。
- ・図解にすることでしっかりまとめられた。
- ・図解を比較することで新たな発見があった。教育に興味を持った。
- ・都民を考えているか、経済を優先しているかを感じた。
- ・図解はかなり頭を使った。
- ・オリンピックが中止の場合は、はっきりと宣言した方がいいと思った。
- ・図解にすることで順序良く物事を考えることができるようになった。
- ・分野ごとに図解で整理することと、その分野ごとに良いと思った立候補者がわかった。実際に当選したときに公約を実行してくれるのか不安に思った。
- ・オリンピックについて意見が多かった。
- ・一番良い図解ができた。
- ・図解の可能性は計り知れない。
- ・現実的な人にする。
- ・図解にすると、ニュースでわかりにくかったことが理解し易くなった。

<興味を持った候補>

6/26講義時

小池百合子47%、山本太郎27%、宇都宮健児20%、小野泰輔3%、立花孝志3%となった。他には後藤輝樹、桜井誠の名前があがった。

6/19講義時

小池百合子33%、宇都宮健児21%、山本太郎20%、小野泰輔15%、立花孝志10%。